

令和2年8月17日

地球規模保健課題解決推進のための研究事業  
日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募に係る  
事後評価コメント

研究開発課題名	Investigate the gain of immune function after hepatitis C virus eradication from patients
研究開発機関名	日本大学
研究開発代表者名	神田 達郎

指摘事項

● 評価できる点

慢性 C 型肝炎に対する直接型抗ウイルス剤(DAA)治療後の患者、ウイルス持続陰性化 (SVR) 患者での C 型肝炎 RNA 陰性化例、非陰性化例で免疫システムの違いを、ケモカインやサイトカインの定量比較で考察して、一定のプロファイルを示したことは、患者の病態の把握の理解に役立つ研究成果であると評価する。

● 疑問点、改善すべき点

免疫システムにおける解析に留まらず、創薬等の実現に向けた研究の発展を期待する。また、当初計画していた末梢血単核細胞 (PBMC) の解析結果が出ていないため、引き続き米国と共同研究を継続していくことが望まれる。

以上